

体験型観光プログラムの開発等による着地型観光の推進（内子町）

【取組概要】

- 観光客の受け入れ地（着地）が主導して、観光情報の発信、多様な観光プログラムの開発・提供を行う着地型観光を推進し、賑わいのある町をつくり、人口減に歯止めをかける。
- 魅力的な周遊・体験プログラムの提供によって、滞在時間の延長、消費額の増加、リピーターの増大、口コミによる誘客など、内子観光の好循環をもたらす観光振興戦略を展開し、交流人口を増大させる。

人口 17,708人

担当部署 町並・地域振興課

事業実施期間 H24年4月～

取組事例のURL

<http://www.uchiko-kankou.info/>

【取組のポイント（特徴・先進性・特色など）】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

1. 情報戦略プロモーション

内子町公式観光サイト構築、エリアと時期を限定したHPリスティング広告を実施。

2. 旅行商品開発

地元法人への委託並びに地域おこし協力隊を導入し、独自の旅行商品を開発する。

3. 多彩なプログラムの開発

酒蔵ツーリズム、大洲和紙の国際ツーリズム支援事業、体験型観光プログラム開発
うちこ食のまちづくり、ぐるっと内子サイクリング、うちこ“ねき歩き”

4. 二次交通の整備

駅から観光スポットまでの交通手段確保

1. 外国人をターゲットとした観光戦略の展開

2. 内子ならではの個性的な観光プログラムの開発とお持てなし

3. フリーWi-Fiスポットの整備、観光アプリの開発

→平成31年度観光客数
130万人を目指す！
(H25年実績110万人)



着地型観光の拠点「ビジターセンター」



新しい観光のカタチ“ねき歩き”